

「宍道総合公園 古墳の森」の管理運営方法（検討案）

手法	根拠法	期間の目安	特徴	○有利な点 ●課題となる点		
				公園管理者（行政）	民間事業者等	地域
1. 設置管理許可 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 社会実験期間 ↓ 設置管理許可 + 使用料の減免 ※使用料の例 面積や地価など から算定される </div>	都市公園法 第5条	10年 (最長20年)	◆民間事業者等に対し、都市公園内における 公園施設 の設置、管理を許可する制度 【公園施設とは？】 ・ベンチなどの休養施設 ・遊具などの遊戯施設 ・野球場などの運動施設 ・遺跡等の教養施設 ・売店等の便益施設 ・事務所などの管理施設 ・その他これらに類するもの 【例】 ・大阪市天王寺公園エントランス	①公園の新たな利活用ができる ②維持管理経費の削減ができる ③条例制定・改正なく実施できる ④議会の議決なく実施できる ➡ 意思決定がすみやかに行える ⑤終了後は、原状に戻しやすい ①許可理由の公への説明が必要 ➡ 公園協議会からの意見などが根拠になる ②公園利用者の利便性向上及び地域振興の見通しが求められる	①独自のアイデアで施設の設置と管理ができる ②専門的ノウハウや企画力で公園活用ができる ③特徴ある公園としてこれまでにない活用の幅を広げられる ➡ ビジネスチャンスにできる ①設置管理経費の負担 ②使用料、ランニングコストの負担 ③行政の縦割りによる使いにくさ ④公募での競争 ⑤天候等の影響で経営の不安定化	①公園が新たに活用されることで地域のにぎわいが生まれる ➡ 世界から人を呼び込む目標 新たな地域振興の可能性 ②設置管理許可を受けた事業者によって、公園管理が行き届く ①一般客の利用方法が制限される ②限られた使い方への住民理解 ③地域振興、暮らしへの効果
2. 古墳の森 有料施設化 【例】 スポーツ・レクリエーション・アミューズメントパーク化	地方自治法		◆古墳の森の必要な範囲を、市条例で定める 有料施設 の位置づけとする 【松江市の例】 「松江市指定管理者の管理する運動施設設置及び管理に関する条例」に掲載された施設 ・ 宍道総合公園内のスポーツ施設 ・ 宍道体育センターなど 時間区切り、範囲区切り、年齢区切り、個人・団体区切り、減免規定あり	①利用機会の公平性の確保 ➡ 「サバゲー」や「スポーツシューティング」もスポーツ・レクリエーション・アミューズメントメニューの1つと見なせる ②維持管理にかかる財源の確保 ①条例制定・改正が必要 ②議会の議決が必要 ➡ 意思決定に時間がかかる ③すでに設置管理許可済のサバゲー施設の取り扱い ④面積基準など法令ルールを満たすことが必要になる	①維持管理の負担が軽減される ➡ 利用者として有料で施設を利用 ①独占的な利用ができなくなる ②すでに設置管理中のサバゲー施設の取り扱い	①利用者は使用料を払うことで自由な使い方ができる ②管理者によって適正な維持管理が図られる ①申請窓口や使用料支払いなどの際に煩雑が生じる可能性がある

手法	根拠法	期間の目安	特徴	○有利な点 ●懸念される点		
				公園管理者（行政）	民間事業者等（指定管理者）	地域
3. 指定管理① 公園全体 （公園内有料施設と無料エリア一括）	地方自治法	1年～4年 （更新可）	<p>◆指定管理者が公園全体（有料施設部分も無料エリアも）の管理・運営を一括して行う ➡ 管理者縦割り問題の解消</p> <p>◆民間事業者等の人的資源やノウハウを活用した施設の管理・運営の効率化 ➡ サービス向上とコスト削減</p> <p>◆施設整備・大規模改修は行政</p> <p>【松江市の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松江市総合運動公園 ・ 城山公園 	<p>①管理運営を一体的に民間に託すことで利用者や住民の意向にそった活用ができる</p> <p>②縦割りによって生じる責任区分の曖昧さが解決される</p> <p>③地域と連携し、地元の声を反映しやすい ➡ 地域振興が期待できる</p> <p>①維持管理経費の予算化が必要</p> <p>②条例制定・改正が必要</p> <p>③議会の議決が必要</p> <p>④指定管理者決定までの手続が必要 ➡ 意思決定に時間がかかる</p> <p>⑤指定管理者が存在しなくなった場合の対応を想定しなくてはならない ➡ 再直営化など</p>	<p>①人件費を含む管理運営経費を受託できる</p> <p>②多種多様な使い方を提供できる ➡ 自主事業や委託事業の展開 複数事業者での連携の可能性</p> <p>③行政の所管（責任分担）が一元化される</p> <p>④町内各施設の指定管理者が同一もしくは協力的であれば、一体的・効率的な運用につなげられる ➡ 近隣施設の有効活用 将来の施設改修の優先順位にも関係</p> <p>①公募での競争 ※ただし、地元ゆかりの団体であれば非公募で受託できる可能性がある（将来的には公募の方向性も）</p> <p>②組織体制と経営状況が信頼性に足りていないといけない</p>	<p>①民間力によるサービス向上で新たなにぎわいが生まれる ➡ 世界から人を呼び込む目標 新たな地域振興の可能性</p> <p>②指定管理施設のルール内で好きな使い方ができる</p> <p>③管理者が近いため、施設を利用しやすい</p> <p>④無料エリアにも管理が行き届く</p> <p>⑤適切な環境整備が行われる</p> <p>①管理者によってサービスの質が保たれるかという懸念</p> <p>②管理者によって地域との連携や地域振興が行われるかという懸念</p>
4. 指定管理② 公園内有料施設のみ （無料エリアは市直営）	地方自治法	1年～4年 （更新可）	<p>◆指定管理者が公園内の有料施設部分の管理・運営を行う</p> <p>◆民間事業者等の人的資源やノウハウを活用した施設の管理・運営の効率化 ➡ サービス向上とコスト削減</p> <p>◆施設整備・大規模改修は行政</p> <p>◆無料エリアの管理は行政</p> <p>【松江市の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宍道総合公園 ・ 多目的広場、テニスコート、少年広場、野球場 	<p>同上</p> <p>①縦割りによる課題</p> <p>②無料エリア部分に目が届きにくい</p>	<p>同上</p> <p>①無料エリアや施設境界部分の管理・運営及び改修・整備が適切に行われるか</p> <p>②行政の縦割りによる不自由さと負担増加</p>	<p>同上</p> <p>①無料エリアや施設境界部分の管理・運営及び改修・整備が適切に行われるか</p>

手法	根拠法	期間の目安	特徴	○有利な点 ●課題となる点		
				公園管理者（行政）	民間事業者等	地域
5. 公募型設置管理 （Park-PFI）	都市公園法 第5条の 2～9	20年以内	<p>◆飲食店、売店などの公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置・管理と、周辺の園路・広場などの特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う民間事業者等を公募により選定する制度</p> <p>【公募対象施設の例】</p> <ul style="list-style-type: none">・富山市富岩運河環水公園 世界一美しいスターバックス・北九州市勝山公園 コメダ珈琲	<p>①民間活力を最大限に活用できる</p> <p>②維持管理経費が削減される</p> <p>③整備費用が削減される</p> <p>❶「公募設置指針」等のルールづくりが必要となる</p> <p>❷都会地に比べて当該地域での実現可能性の検証が必要</p>	<p>①長期間でのビジネスが見通せる</p> <p>❶財政・人的資源等の経営体力が必要</p> <p>❷自己資金での施設設置管理と周辺施設整備への還元が求められる</p> <p>❸公募での競争</p>	<p>①公園の新たな利活用につながる</p> <p>②周辺施設の整備が併せておこなわれるため公園の機能と使いやすさが向上する</p> <p>❶一般利用者の利用エリア及び利用方法が制限される可能性がある</p> <p>❷ビジネス展開を含めた新しい使い方への理解</p>